

実践NOTE 23

「本って楽しい！」

児童生徒の豊かな心を育て 学校図書館を目指して

静岡県立藤枝特別支援学校 教諭 久保野 歩美



絵本を紹介する筆者(右上)

本校は静岡県の中部にある自然豊かな藤枝市に立地し、知的障害や肢体不自由のある児童生徒が「腕を大きく振ると速く通う学校」です。小学部163人、中学部112人、高等部142人、訪問教育13人で、合計が430人の大規模校です。本校の学校図書館は、年齢も障害も様々な児童生徒が利用するという点で、試行錯誤を繰り返しながら様々な取組を実践してきました。

9月は運動会があるため、スポーツに関係する本を集めて展示しました。腕を大きく振ると速く通う学校です。小学部163人、中学部112人、高等部142人、訪問教育13人で、合計が430人の大規模校です。本校の学校図書館は、年齢も障害も様々な児童生徒が利用するという点で、試行錯誤を繰り返しながら様々な取組を実践してきました。

校内の読書推進活動

本校の学校図書館経営は、「本に親しみやすく、学習に利用しやすい学校図書館」を目標としています。児童生徒が日常的に図



校内読書感想画コンクールの展示

想画コンクール」では、児童生徒が本を読んで想像した世界を描いた作品を展示しています。イベントでは、絵本を題材にしたクイズラリーや校内のスペシャルゲストによるお話の会などを行っています。本について「もつと読みたい！」と欲求をこめ、毎日図書館を訪れる児童生徒もいます。この期間の学校図書館はいつも以上にぎやかで活気に満ちあふれています。



昼休みにお気に入りの本を読む生徒

①学習活動の工夫
単元最初の意識付け、

「感動」を生むために、本校では、子ども同士の自然な関わり合いを深めようと、次の四つの取組を行いました。



電子黒板の活用



実物投影機の活用

学び方を学ぶためには、自分の思いを豊かに表現するコミュニケーション力が必要です。「聴く・話す・関わり合うこと」はその根幹にあります。生活科では、友達の見つけた発見の発表を聴き、

また、同時に、自分の思いを持ち、のびのびと表現する場面を通して、「自分自身で力を伸ばしていこうとする力」学び方を学ぶことに重点を置きました。

友達と関わる力

感動を生むために

読書を生涯の友へ

昼休みの学校図書館に足を運ぶと、お気に入りの本を広げて夢中になって読む児童や、探している本の所在を質問する生徒など、自ら進んで読書に向かう姿勢が見られます。今後これら活動



校内スペシャルゲストによるお話の会

豊かな心を育む時間

児童生徒に本の楽しさやおもしろさを伝え、本への興味関心を持つきっかけづくりをする目的で、地域の図書ボランティアによるお話の会を年間8回企画しています。約25人の図書ボランティアが各クラスに分かれて行うお話の会は、絵本や紙芝居による読み聞かせだけでなく、パネルシアターや手遊び歌、人形劇など幅広い内容を盛り込み行われています。

実践NOTE 24

「感動を生む授業」を創造するために

富士市立富士第一小学校 教諭 小川 紳一



筆者中央

感動とは何か

平成23年度から2年間本校は富士市教育委員会から学習指導法の研究校に指定され、学習指導の改善に取り組みました。それを受けて本校の研究主題を「感動を生む授業の創造」としました。知る喜びを感じることは「感動」です。また、関わり合いを通じて、自分の伸び、友達のように

また、同時に、自分の思いを持ち、のびのびと表現する場面を通して、「自分自身で力を伸ばしていこうとする力」学び方を学ぶことに重点を置きました。

また、関わり合いが円滑にできるよう、自分の思いを正確に伝える実物投影機や電子黒板などの教育機器を用いました。

また、関わり合いが円滑にできるよう、自分の思いを正確に伝える実物投影機や電子黒板などの教育機器を用いました。

振り返りの充実

授業後は振り返りを行います。次時の課題作りの材料とするともに、子どもたち自身が、自分の「分かった」「分からなかった」を確かめられるようにしています。



目指す授業像の掲示



思いを伝え、聴く姿

本校の研修主題に沿って、全職員が目指す子どもの姿を共通理解するとともに、学級では子どもたちと話し合いを、目指す授業像を考へました。子どもたちが作った言葉は、子どもが見える所に掲示されています。

本校の研修主題に沿って、全職員が目指す子どもの姿を共通理解するとともに、学級では子どもたちと話し合いを、目指す授業像を考へました。子どもたちが作った言葉は、子どもが見える所に掲示されています。



スーパーボールすくいもあるよ(無料)

授業後は振り返りを行います。次時の課題作りの材料とするともに、子どもたち自身が、自分の「分かった」「分からなかった」を確かめられるようにしています。

また、関わり合いが円滑にできるよう、自分の思いを正確に伝える実物投影機や電子黒板などの教育機器を用いました。

振り返ると教員生活も25年。本当に時が経つのは早いと感じます。大学の農学部に進学し、その時点では教育実習で訪れた母校の清



生徒に囲まれて(筆者前列中央)

教育という職のすばらしさ 生徒との出会いに支えられて

水東高での生徒たちとの触れ合いが忘れられず、そして、その思いはだんだんと高まり、就職してから4年目に、教員採用試験を受験しました。

清水東高に赴任してからは、清水南高時代に発行していた学級通信「学年通信」になつてからは「なまこ」を年間30回程度発行し、それを軸に学級(学年)経営を行っています。

彼らは入学後の3年間で見事に成長し、3年次には無敗のまま県リーグを制覇しました。そして、地域のサッカー強豪校に参加できるプリンスリーグへの参入戦では、土壇場でPK勝ちをし、プリンスリーグ昇格を成し遂げました。

多くの感動を目の前の生徒たちと共に経験できる教師という仕事に感謝し、残り8年余りの教員生活を過ごしていきたいと思っています。

師になるつもりはありませんでした。たまたま、教師志望の友人が「免許だけでも取らないか」と誘ってくれたおかげで今があります。

教員となつた後の大きな転機は、清水南高の3年目を終える3月、新年度に向けてスタートしようとした矢先の知事部局への転動命令でした。知事部局での仕事はやりがいもあり、多くの貴重な体験をしました。

「生徒」はいません。生徒たちと過ごしたそれまでの13年間が、いかに自分にとって大切なものだったのかを改めて実感しました。

昨年度卒業した生徒たちは、私が学年主任として初めて送り出した生徒たちで、より感慨深いものがありました。中でも、サッカー部は全国制覇を合い言葉に頑張っていま

した。私はサッカー部の顧問ではありませんが、節目の試合には必ず応援に出掛け、学年通信「なまこ」でも度々その健闘を称え、激励のメッセージを送り続けました。

東高勝利の一報が入るとすぐに教頭先生が実験真つ最中の私のところへ「勝つたよ!」と教えに来てくれました。思いがけず、何よりも嬉しかったのは、顧問でもない私とこのころへ、試合に出ていた3年生7人全員が揃って直接勝利の報告に来てくれたこと。思わず自頭が熱くなりました。全員が晴れ晴れとした顔、キラキラとした目、PKを止めた生徒の誇らしげなドヤ顔、一生忘れません。

多くの感動を目の前の生徒たちと共に経験できる教師という仕事に感謝し、残り8年余りの教員生活を過ごしていきたいと思っています。

自分の天職は教師

清水東高に赴任してからは、清水南高時代に発行していた学級通信「学年通信」になつてからは「なまこ」を年間30回程度発行し、それを軸に学級(学年)経営を行っています。

彼らは入学後の3年間で見事に成長し、3年次には無敗のまま県リーグを制覇しました。そして、地域のサッカー強豪校に参加できるプリンスリーグへの参入戦では、土壇場でPK勝ちをし、プリンスリーグ昇格を成し遂げました。

多くの感動を目の前の生徒たちと共に経験できる教師という仕事に感謝し、残り8年余りの教員生活を過ごしていきたいと思っています。

昨年度卒業した生徒たちは、私が学年主任として初めて送り出した生徒たちで、より感慨深いものがありました。中でも、サッカー部は全国制覇を合い言葉に頑張っていま

した。私はサッカー部の顧問ではありませんが、節目の試合には必ず応援に出掛け、学年通信「なまこ」でも度々その健闘を称え、激励のメッセージを送り続けました。

東高勝利の一報が入るとすぐに教頭先生が実験真つ最中の私のところへ「勝つたよ!」と教えに来てくれました。思いがけず、何よりも嬉しかったのは、顧問でもない私とこのころへ、試合に出ていた3年生7人全員が揃って直接勝利の報告に来てくれたこと。思わず自頭が熱くなりました。全員が晴れ晴れとした顔、キラキラとした目、PKを止めた生徒の誇らしげなドヤ顔、一生忘れません。

統計グラフコンクール優秀作品決定! ~魅力あふれる統計グラフが大集合!~

小・中学生などが、夏休みの自由研究として自分で調べたことを統計グラフで表現する「統計グラフコンクール」の審査会が9月13日に県教育会館で行われ、優秀作品が決定しました。

応募総数1,175点の作品の中から、167点が県審査会に出品され、77点が優秀作品に輝きました。その中から県知事賞の一部を紹介します。



県知事賞
◇第2部(小学校3,4年生) 富士市立富士第二小学校3年・三浦梨央さん
◇第3部(小学校5,6年生) 御殿場市立御殿場南小学校6年・伊東美玲さん



審査委員長の松永広雄さん(県教育研究会美術教育研究部部長)からは、「今年は世界遺産となった富士山についての作品が多く見られ、関心の高さが伺えました。全体的には、子どもらしい表現や絵グラフなどの見えて楽しい作品や、レタリングや構図などの技法レベルの高い作品が多かったと思います」と講評をいただきました。

ここで紹介した以外にも多くのすばらしい作品がありました。それらの作品の展示会を開催しますので、是非、小・中学生の思いが感じられる作品を御覧ください。

優秀作品展示会
日程 12月5日(木)~19日(木) 場所 県庁別館21階展望ロビー
問 県統計利用課 054(221)2298

平成25年度 社会教育 主事講習の御案内

「社会教育主事」とは、都道府県・市町村の教育委員会事務局に置くことされる専門的教育職員で、社会教育を行う者へ専門的技術的助言と指導を行います。その資格は社会教育法で定められています。

- 期間 平成26年1月22日(水)から2月28日(金)までの平日の27日間
- 会場 静岡会場：静岡県教育会館(静岡市葵区駿府町1-12)
- 募集人数 25人
- 受講料 無料。なお、宿泊研修費は実費負担(泊3日、7000円程度)

- ◎ 受講資格は? 社会教育主事講習等規程第2条の各号の一に該当する方、例えば以下の条件に該当する方は受講できます。
 - 社会教育計画(2)
 - 社会教育演習(3)
 - 社会教育講習(3)
- ◎ 分割履修とは? 講習修了に必要な単位は以下のとおりです。
 - 生涯学習概論(2)
 - 社会教育計画(2)
 - 社会教育演習(3)
- ◎ 受講申込みは? 受講者の募集は、11月上旬頃を予定しています。申込みの際の必要書類等も含め、お気軽に御相談ください。



平成24年度受講生

